

# SANGO WAY について

2012年  
株式会社三五

## 〔SANGO WAY とは？〕

SANGO WAY は、「三五グループに働く人間として、どのような価値観を共有し、どのような行動を取るべきか」という**行動原則**として策定されました。

つまり、日本国内・海外の事業体で構成される三五グループ全体が同じ方向に進み、その力を存分に発揮していくうえで、我々の行動の背景となるもの（価値判断する際のよりどころ）であり、さまざまな判断を行う際には、「**その判断は SANGO WAY に合致しているか**」を確認しなければなりません。

## 〔SANGO WAY の策定について〕

策定に到るまでには、執行本部長によるチーム検討と、2回の役員合宿での全体検討などが繰り返されました。『社是』『基本理念』をベースとし、それらを企業活動の中でいかに実現するかという視点に加え、三五グループの歴史をひも解いた中から大切にすべきことを抽出・加味して、SANGO WAY を「公正と誠実な行動」「人材育成と強い団結力 (teamwork)」「チャレンジ精神」「革新と独創性」「現地現物」の5本の柱で構成しました。

## 〔SANGO WAY 構成の説明について〕

5本の柱(I~V)と、各柱を実現するために最小限必要な項目、および項目の説明から成っています。

## I. 公正と誠実な行動

項目	項目分類 / 項目の説明
1) 社会への貢献	<b>①お客様、仕入先、地域住民、株主への貢献</b> ・お客様、仲間、協力してくれる人、周りの方々に信頼し、信頼を得る会社・人間となるよう努め、会社の繁栄・従業員の幸福を実現する。 ・環境に配慮した製品づくりを行うと共に、地域環境整備にも力を注ぐ。
2) 「相互信頼」と「相互責任」	<b>①多様性の受容</b> ・オープンでグローバルな意識・視点を常に持ち、様々な文化・民族、個人々の多様性を尊重する。 <b>②言行一致、有言実行</b> ・自己の業務には、自立的に、全力で取り組み、やるべきことをやり、結果には責任を負う。
3) 双方向コミュニケーション	<b>①気配りと配慮</b> ・何事にもフェアであり、人に対して公平かつ率直に接する。相手に対する配慮、気配りを心掛ける。

## II. 人材育成と強い団結力(teamwork)

項目	項目分類 / 項目の説明
1) 人材の育成	<b>①部下育成</b> ・明確な高い業務目標を与え、それを達成させることで、人材を育成する。 ・上司は部下を啓発育成する。その過程で、部下、後任者からも学び、相互に知識を交換、習得する。 <b>②リーダーシップ</b> ・部下には課題と達成感と成長の機会を与える。また、部下の業績を正しく評価し、部下の行動の責任を取る度量を持つこと。
2) チームの総合力発揮	<b>①個人の間人尊重</b> ・個人の間人尊重がチームの総合力を発揮する。 ・家族のように共に働く喜びを感じ合える会社を目指す。 <b>②チームワーク</b> ・お互いの役割を知り、協力する心を持ち、責任感のある行動で強い団結力 (チームワーク) を作る。 ・創意工夫と諦めぬ探求心に基づく問題解決に向けた活動が、チームワークを生み出す。

### Ⅲ. チャレンジ精神

項目	項目分類 / 項目の説明
1) 夢への挑戦	<p>①<b>独創的な製品開発</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な使命は、高品質かつ独創的なモノづくりを中核とした付加価値の創造であり、夢の実現に向け、情熱を失わず、喜びと創造力と勇気をもって挑戦し続ける。</li> </ul> <p>②<b>独立自尊の精神と自負心の醸成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当事者意識を育み、自分の城は自分で守る覚悟、自分がやらねばという気概をもつ。</li> </ul>
2) 長期指向	<p>①<b>先見性、長期的予見</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>足元の状況に左右されることなく、長期を見通して本質的な動向を把握する。</li> </ul> <p>②<b>現実に即応した対応</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長期的成功を常に念頭に置きながら、現実に即応した対応を計画し、柔軟なシナリオを策定し展開する。</li> </ul>
3) 的確な判断力と慎重な行動	<p>①<b>リスクへの覚悟</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状・先行きが不確実な状況下でも、リスク回避方法を十分に把握、自覚した上で決定を下す。</li> </ul> <p>②<b>重点指向、全体最適</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体を見渡して優先順位を明確化し、全体として最適化できることを最優先する。</li> </ul>

### Ⅳ. 革新と独創性

項目	項目分類 / 項目の説明
1) 革新的なもののづくりの追求	<p>①<b>絶え間無い改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>より高い目標を掲げ、絶え間ない改善を実践する。</li> <li>前例やタブーに囚われず、不可能だと諦めず、創造的アイデアによるブレークスルーを目指す。</li> </ul> <p>②<b>創意工夫、ベンチマーキング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常に創意と工夫を凝らす。社内外との比較を通じて自らの実力を把握する。</li> </ul>
2) 徹底的な生産性向上	<p>①<b>ムダ、ムラ、ムリの排除</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「ムダ、ムラ、ムリ」を徹底的に排除する。</li> <li>古いものを上手く使う、必要ないものは買わない、不良をつくらない。</li> <li>問題を明らかにするために、異常があれば止まる仕組みを構築する。</li> </ul> <p>②<b>ジャストインタイム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての工程において、後工程をお客様とみなし、必要とされるモノを、必要なタイミングで、必要だけ提供する。</li> <li>顧客の要求に確実に応える。</li> </ul>
3) 組織的学習の徹底	<p>①<b>共有化・標準化・横展</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>眼で見る管理等の手法を積極活用することで、違いを層別できる現地現物の気風を育て、関係者間での状況認識の共有化と気付きを促進する。</li> <li>標準化を推進し横展、組織内に定着させる。</li> </ul> <p>②<b>失敗からの学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>失敗を恐れずポジティブシンキングで何度でも挑戦し、互いに研鑽しながら能力を向上させていく。</li> </ul>

### Ⅴ. 現地現物

項目	項目分類 / 項目の説明
1) 現地現物	<p>①<b>事実の確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>深く現状を理解するために、現地現物の精神の下で第一線での事実を直視しなければならない。</li> <li>権限を委譲している場合でも、自分自身で掌握・解決しなければならない課題については、足を運び、定量的、定性的情報を徹底的に幅広く集める。</li> </ul> <p>②<b>課題把握と真因追求</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題（目標と現状の乖離）を深く分析し、本質を見極め、原理・原則に則って真因の追求（5ナゼ）を行う。</li> </ul>
2) 合意形成	<p>①<b>目標の共有化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>やるべきことについて、多方面のメンバー、パートナーからの幅広い考えを集約し、合意形成をはかる。</li> <li>目標を共有化するため、具体的に目標を掲げ、課題（目標と現状の乖離）を定義することが大切である。</li> </ul> <p>②<b>プロセス重視</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標達成にいたるプロセスについて合意を図り、そのプロセスの実行状況を重視する。</li> </ul>
3) 実践主義、達成指向	<p>①<b>行動優先・スピード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境変化に対しまずは試行（暫定版）を実施する。出来ないという前にまず行動し、批評する前に実行する。</li> <li>決断が下されれば、納期を遵守すべく、全員一丸となって、短期集中で取り組む。</li> </ul> <p>②<b>粘り強さ、飽くなき問題解決</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標の達成に向け、PDCA手法等を用いて進捗をフォローし、ねばり強く、事にあたれば成果が出るまで諦めずに問題解決を目指す。</li> </ul>